



Jaws レポート 62

発行／社団法人日本動物福祉協会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル内 TEL(03)5740-8856 FAX(03)5496-0930 <http://www.jaws.or.jp>

発行人：山下眞一郎
編集人：桜井邦広
〃：山口千津子
編集協力：平山企画舎



セミナー会場



JAWSセミナー
2009.12.14

◆講師 レベッカ・ローアデス氏(左) パメラ・バーンズ氏(右)

より良い譲渡に向けて～ハワイからの提言

ム・ペットの一時預かりサービス・ペシタリーハウスの運営を行なっています。この事業は、所有権譲渡された動物の新しい飼い主探し・野ネコの不妊去勢プログラムなどを通じて、動物保護活動を行なっている団体です。

ハワイでもカウアイでも、我々のシェルターはオープンアドミッションシェルターですから、連れてこられた動物全てを拒否することなく受け入れています。そして一頭一頭問題を解決するためには、行動の評価と健康の評価をします。

寄付により運営している事業は、所有権譲渡された動物の新しい飼い主探し・野ネコの不妊去勢プログラムなどを通じて、動物保護活動を行なっている団体です。

①ハワイおよびカウアイ・ヒューメインソサエティーの紹介

エルターの紹介

ハワイ・ヒューメインソサエティー（以下ハワイ）は1883年に、カウアイ・ヒューメインソサエティー（以下カウアイ）は1952年に動物福祉を推進するために民間の慈善団体として設立されました。アメリカではヒューメインソサエティーという名前がついている団体がたくさんあります、ほぼ全部が独立している

2009年12月14日、ヤマザキ学園動物専門講渡に向けて「ハワイからの提言」と題し、「ジャパンリミテッド」を開催いたしました。

「神戸アニマルケア国際会議」(2009年12月14日)主催:NPO法人Knotsに、演者としてズ氏とレベッカ・ローラー・デス氏を東京に緊急招集。エルターワーク及び活動を通して、より良い譲り受けをいたなければセミナー開催をいたしました。

告知から開催まで数週間という緊急開催で、お集り頂き、意見交換も含め有意義なセミナーとして報告させて頂きます。通訳は山崎恵子氏(日本語)と山崎和也氏(英語)にて行いました。

月12日～13日、於神戸国際会議場
来日されていた、パメラ・バーン
講師し、ハワイにおけるアニマルシ
渡に向いていろいろなアイディア
はありましたが、80名近い方々に
一となりましたので、内容を抜粋
（ペット研究会「互」主宰）にお願い

パメラ・バーンズ氏
(ハワイ・ヒューメインソサエティー・CEO)
*Pamela BURNS : President and CEO,
Hawaiian Humane Society

レベッカ・ローアデス氏(獣医師)
(カウアイ・ヒューメインソサエティー・E.D.)
*Rebecca RHODES,D.V.M : Executive
Director Kauai Humane Society

62号 主な内容

支部だより(相模支部) / 視察	3
上げ馬神事関係者を馬虐待で告発	4
神戸アニマルケア会議 / セミナー案内	4
定款変更のお知らせ・理事会レポート	5
捨て犬・捨て猫キャンペーン最終報告	6

アジア・ブオリ・アーマルズ会議(参加報告)
セミナー等開催案内
寄付者ご芳名/事務局から
平成21年度定時会員総会のお知らせ
阪神・淡路大震災犠牲動物慰靈祭
ジヨーズジユニアコーナー

8 / / / 6 6



オープンでフレンドリーな雰囲気の受付
(ハワイ・ヒューマインソサエティー08年撮影)

ットロ・エスサポート・ボランティアの教育サービス・動物行動プログラム。緊急時のペットシェルター提供などです。これらの事業を運営するためには、寄付を集めることの大切な仕事です。

また、野良イヌ・野良ネコなどの収容作業や迷い犬や迷い猫のコントラクトポイントなど地元の動物管理です。我々団体の査察官にはそれぞれの警察当局からいくつつかの法律に関

法律では、虐待防止法や猫の登録に関する法律、危険犬種法、そして大に関する迷惑防止条例等に関し、私どもの検察官が警察と同じ権限を持つて介入する事が可能になっています。但しアメリカの場合、動物管理行政に関してはどこの自治体にいるかによって随分とやり方が異なります。

② 地域社会の中でのシェアリングとして成功するためには

ハワイでは昨年、5900頭もの動物の譲渡をしました。譲渡を成功させるためには、沢山の資源を譲渡に向けなければなりません。譲渡一頭に関して、それに携わる人の教育や新しい飼い主さんへのサービスの提供など何百ドルというお金を1件1件かける覚悟が必要です。

地域社会の中でシェルターを成功させるための鍵は、シェルターの衛生管理が良く、清潔でフレンドリな雰囲気があり、動物が常に健康で

数多くの譲渡を成功へ導く一端を担っているもう二つの制度が、フォオス・ターケアの仕組みです。ハワイでは、100人以上のボランティアネットワークがあり、不妊去勢手術ができるほど幼齢な動物や特殊な疾患有を持つていてる動物などを、その動物が譲渡できる状態になるまで、短期から長期間家庭で預かってもらいます。平均的なフォオス・ターケアの日数は約2～3週間ですが、とても臆病な場合は3～4か月家庭で暮らすという事もあります。

③より良い動物にするために

ハッピーであるということです。健康でハッピーな動物を維持することが出来る清潔なシェルターだからこそ人はそこに来て、動物をもらつてくれます。そして、「あそこに行つたらしいコに会えるよ」と「ココで」来てくれる人も増えるわけです。そのため、動物が健康でハッピーであるかどうかのモニタリングは怠



犬舎(ハワイ・ヒューメインソサエティー:08年撮影)

て社会化が出来るかの評価も行つていいのです。シェルターにいる動物たちがいつも健康であることには、たくさんのお金をかけて気を付けています。

譲渡の前には、全ての動物に不妊去勢手術及びマイクロチップの挿入をします。8週齢以上であれば不妊去勢手術をする、というプロセスは現在かなり定着しています。早期の不妊去勢手術は、繁殖の危険性を心配することなく安心して譲渡でき、また手術を待つ間、動物をシェルタリにずっと置かなければならない問題も回避できます。手術の時期は、基本的に譲渡できる動物として展示される前に実施するというのが定番のやり方です。

そして、行動の評価をします。基本的に私たちは、この動物を一般的家庭にして何が起こるか、ということを考えて評価をします。攻撃したり、咬んだりという危険性はないだろうか、パニックを起こして逃げ出し戻つてこなくなるような事はないだろうか、といった事は一番の主点になります。咬みつくなどの危険性のある犬、極めて社会性のない野ネコの場合は安楽死をします。しかし、最終的な評価をするまでには沢山の時間をかけ、動物が落ち着いて行動できるようにならうだろう、という事などを見るようにしています。評価は年齢、健康、行動な

5 施設の管理

動物の施設はとにかく清潔であり、臭いがないことが大事です。そ

うふうに相手に考えさせるか、とう聞き方を覚える事も大切です。

7 シェルターを良くするための調査

きちんとした調査をすることを、過小評価しないでいただきたいです。例えば、ホノルルで犬や猫が何頭いるのか、不妊去勢されている率はどう

ことですか。お金をかけてピカピカの物に対し、トレーイングをして社会化を促進し、日常的な運動を欠かさず行っています。行動をより適正な方向に形づけていく行動プログラムは、大切なプログラムの一つです。シェルターを訪れた人が沢山の動物の中から、「このコはうちのコになる」というイメージが瞬時に湧くような動物を提供したいと思っています。猫にもトレーニングをしています。

譲渡の前には、全ての動物に不妊去勢手術及びマイクロチップの挿入をします。8週齢以上であれば不妊去勢手術をする、というプロセスは現在かなり定着しています。早期の不妊去勢手術は、繁殖の危険性を心配することなく安心して譲渡でき、また手術を待つ間、動物をシェルタリにずっと置かなければならない問題も回避できます。手術の時期は、基本的に譲渡できる動物として展示される前に実施するというのが定番のやり方です。

そして、行動の評価をします。基

本化が出来るかの評価も行つていいのです。シェルターにいる動物たちがいつも健康であることには、たくさんのお金をかけて気を付けています。

譲渡の前には、全ての動物に不妊去勢手術及びマイクロチップの挿入をします。8週齢以上であれば不妊去勢手術をする、というプロセスは現在かなり定着しています。早期の不妊去勢手術は、繁殖の危険性を心配することなく安心して譲渡でき、また手術を待つ間、動物をシェルタリにずっと置かなければならない問題も回避できます。手術の時期は、基本的に譲渡できる動物として展示される前に実施するというのが定番のやり方です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。



猫舎(ハワイ・ヒューメインソサエティー:08年撮影)

質疑応答(一部要約)

Q 日本では今、飼い主の理由で、各地域の動物愛護センターにたくさんの犬猫が持ち込まれています。殺処分を解決するためのシェルターブルーベルとして、寄付やボランティア集めはどうしたらいいでしょうか。

A 一番大切なのは、自分が良いモデルとなることです。みんなの飼っているらっしゃる動物は全頭不妊去勢手術とマイクロチップをしていますか、ボランティアをしていますか、金銭的な寄付をしていますか。それを今度は、自分がモデルとなり、自分の周りの5人の人間に説得して下さい。それが、さらに広がったら…、という想像をして下さい。アメリカでも毎年多くの動物が安楽死され、その方法も自治体により異なりますので、決して先進的というわけではありません。また、実際に殺処分等の仕事をしなければならない行政を決して責めないこと。行政に対して提案を受け入れてもらえるよう、我々がいかに話をできるかが鍵だと思います。そして、最近のアメリカの流れとして、1つの団体だけでなく連合会を作るという動きが出てきています。民間団体だけでなく、民間と行政が連携体制を作っているところもあります。そのような連携をする場合、獣医師に協力をしていただくと良い仕事ができると思います。

Q 獣医師の先生方をうまく説得して、協力していただけるような秘訣はありますか。

A 獣医学教育の中の意識も変わってきているので、若い獣医さんに協力を依頼することも大事かもしれません。ただ、いずれにしても、無料でやって下さい、というのはいけません。何らかの協力体制をつくり、少しづつ人数を増やしていくのです。支払いをするために、お金をどのように集めるか、という想像力も必要です。動物のために協力するという事は、お互いの立場を尊重することだと思います。

6 新しい飼い主の呼びかけの場

新しい飼い主の呼びかけの場として、ウェブサイトやケーブルチャンネル、新聞など積極的に活用していますが、メディアに出す時に一番大切なのは、彼らがハッピーな顔をしている、非常に健康そうだなというイメージが伝わることです。プレゼンテーションは非常に大事です。

譲渡の前には、全ての動物に不妊去勢手術及びマイクロチップの挿入をします。8週齢以上であれば不妊去勢手術をする、というプロセスは現在かなり定着しています。早期の不妊去勢手術は、繁殖の危険性を心配することなく安心して譲渡でき、また手術を待つ間、動物をシェルタリにずっと置かなければならない問題も回避できます。手術の時期は、基本的に譲渡できる動物として展示される前に実施するというのが定番のやり方です。

そして、行動の評価をします。基

本化が出来るかの評価も行つていいのです。シェルターにいる動物たちがいつも健康であることには、たくさんのお金をかけて気を付けています。

譲渡の前には、全ての動物に不妊去勢手術及びマイクロチップの挿入をします。8週齢以上であれば不妊去勢手術をする、というプロセスは現在かなり定着しています。早期の不妊去勢手術は、繁殖の危険性を心配することなく安心して譲渡でき、また手術を待つ間、動物をシェルタリにずっと置かなければならない問題も回避できます。手術の時期は、基本的に譲渡できる動物として展示される前に実施するというのが定番のやり方です。



猫舎(ハワイ・ヒューメインソサエティー:08年撮影)

8 譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

来訪者に友好的なシェルターであるために、我々は1週間毎日営業しています。動物がほしいな、見にいきたいなと思ったお客様が、便利だなと思う時間に営業していなければなりません。譲渡も費用を頂く事は必要だと思います。ハワイでは犬または猫1頭につき65ドルの譲渡費用を頂いていますが、費用が高すぎて飼えず、

来訪者に友好的なシェルターであるために、我々は1週間毎日営業しています。動物がほしいな、見にいきたいなと思ったお客様が、便利だなと思う時間に営業していなければなりません。譲渡も費用を頂く事は必要だと思います。ハワイでは犬または猫1頭につき65ドルの譲渡費用を頂いていますが、費用が高すぎて飼えず、

ことです。お金をかけてピカピカの物に対するトレーニングをして社会化を促進し、日常的な運動を欠かさず行っています。行動をより適正な方向に形づけていく行動プログラムは、大切なプログラムの一つです。シェルターを訪れた人が沢山の動物の中から、「このコはうちのコになる」というイメージが瞬時に湧くような動物を提供したいと思っています。猫にもトレーニングをしています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

譲渡後のサポート

譲渡後のサポートも大事です。カウアイでは、「3」の字を基本に3日後、3週間後、3ヵ月後に必ず電話をして何か支障が出でないか伺うようにしています。特に譲渡後1ヶ月間、この始める時期に本当にいい関係を育むお手伝いを我々がしてあげるということが譲渡にとって大切なことです。この時期に、行動上の問題は、その芽を摘むサポートをして、健康問題は外来で薬を出すなど、単純なケアはこちで行います。地域の獣医師会のクリニックの先生方が私たちのところで譲渡した動物に関して、1回無料の健康診断をする約束もして下さっています。実際は、私たちがフォローアップをした健康な状態で動物がクリニックに行くので、獣医さんも簡単な健康診断をすればいいですし、このシェルターの動物はみな健康という評判も高くなります。動物の出戻りもあります。ギブアップすることは決して悪い事ではありません。無理やりその人が我慢しながら家に動物を置いておくとい

うことをやつてほしくないです。シェルタースタッフも嫌な顔をせず、面接をして、どこがまづかったのか飼い主にはつきり聞き、理由を言つて頂くようにします。それは、今までの落とどころを見つける事も大切です。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者に対して、飼い主と動物がより良い関係を築けるために譲渡カウンセリングなど様々なことをしています。1頭の動物を引き受けるとその動物の寿命が尽きるまで、長い間付き合わなければならぬわけですから、本当に考へて決断して頂きたいと思います。

新しい飼い主の呼びかけの場

我々のシェルターに入つて来た動物にはすべて名前を付けます。番号や記号で呼ぶことはありません。名前の入ったシートに情報を書いて、犬舎や猫舎に必ず貼って置きます。健康状態とか行動上の癖などこの点はどんなコかということが簡単に分かるようになっています。

新しい飼い主への対応

新しい飼い主希望者